



みんなで推進しよう!! 平和・文化・教育・福祉・経済交流を 日本・ブルガリアの「国交回復53周年」



2011年度・活動の軌跡

1、活動方針(全なもの)
平和
ブルガリア人の平和
記念資料館の案内
プロヴェディフでの原
爆展の開催
平和市長会議への加
盟推進
2、文化
ブルガリアの理解講
座、料理教室、料理と
ワインを楽しむ会の
開催
世界遺産の保存状況
の調査

3、好ブルガリアの日本友
協会と交流・研鑽
広島の留学生・研究
員の受け入れ校・研究
機関の調査
ブルガリアへの留学
生・研究員の発掘
ブルガリアの大学・
総合学校への日本語
教師派遣の促進
4、学術
広島大学、広島経済
大学とソフィアの大
学との交流協力

【新人事】役割別50音順)会長
名誉顧問 伊藤 誠・在ブルガ
リア大使 佐々木和子・日本語
講師
名譽顧問 リア大使 今村 功・協会専属
副会長 功・協会専属
副会長 佐々木和子・日本語
講師
田中 武・広島工業
大学教授
代表理事 高丸 晃・(株)トモエ
工業 会長
副代表理事 鈴木 文男・広島大学
教授
顧問 浅原 利正・広島大学
学長
前川 功一・広島経済学
学長

常任理事・会計 大嶋 伸枝・主婦
常任理事・主計 北後 顕児・(株)山進
COO
寺田 満和・クリニク
副院長・医師
山尾 秀治・(有)ヤマオ
コーポレーション
山本 哲也・元小学校
取締役
山本 哲也・元小学校
校長
会計代理 川口 悦子・主婦
監査役 佐上 芳春・公認会計士
佐上 芳春・公認会計士



佐々木副会長(中心)と料理をつくった人たち

2011年4月23日 2011年度・総会



2011年度の活動や人事などを検討・決定して新たな決意で出発

代表理事に高丸氏、副会長に佐々木、田中氏
副代表理事に鈴木、三島氏
4月23日(土)の
2011年度・
総会では、役員が
活動報告(案)や会
計報告(案)、活動
方針(案)、新人事
(案)を発表した後
真剣に検討した結
果、全会一致で原
案通りに決まりま
した(左記参照)。
新人事では、代
表理事に高丸晃氏、
副会長に佐々木和
子、田中武の両氏
が、副代表理事に
鈴木文男、三島佳
代子の両氏が就任。
監査役には佐上芳
春氏(公認会計士
・税理士)が選任
されました。

第11回・チャリティー「ブルガリア料理教室」



出来上がった3品のブルガリア料理とパン、デザート



パンをつくるナイチョフさん(右)ら



ナイチョフさんがつくり焼いたブルガリア特製の3種類のパン



上から、ヨーグルトを使った野菜サラダ、鶏肉の料理
ナスのコロツケ、イチゴとヨーグルトのデザート
(ヨーグルトは明治乳業(株)からの提供)

新体制
ブルガリアとの交流活動を推進
代表理事、2副会長、2副代表理事が新任
広島市留
学生会館



ブルガリアと広島交流促進を



3.11.東日本大震災・福島原発事故の犠牲者の冥福を祈る

第11回・チャリティー「ブルガリアの料理とワインを楽しむ会」

4月



参加者全員で

東日本大震災・原発事故の犠牲者に黙とうし冥福を祈る

黙祷(もくとう)

今村会長、高丸代表理事らが活動の活発化を誓う



高丸代表理事



今村会長



浅野相談役



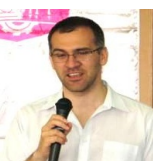
岸田相談役



佐々木副会長



田中副会長



ナイチョフ氏



酒井教授・理事



末田教授・協会理事



濱本理事



浅野理事

広島大学大学院の末田教授(協会・理事)が乾杯の音頭

料理教室で料理を作った後、ホールで第11回・チャリティーブルガリアの料理とワインを楽しむ会を開きました。これには、協会メンバーや一般市民が参加し、楽

しい時間を過ごしました。今村会長が、料理を... 作られた方々に感謝の意を表し、美味しいブルガリアの料理とワインを味わって下さい、あいさつ。二島大学大学院の末田博士(協会・理事)に乾杯の音頭の発生... 後、会食を始めた。料理教室責任者の佐々木和子(副会長)は、ブルガリアヨーグルトを多く使った野菜サラダや鶏肉料理、那ナスのピザ、ブルガリアのピザ、料理の

紹介しました。料理アドバイザーのジェコ・ナイチョフ氏(心臓外科医、広島大学博士課程在学)は、ブルガリア版の特性パン3種類を紹介しました。また、同楽しむ会には、多忙な中、岸田文雄(衆院議員)、浅野洋二(元・県議)両相談役が駆けつけて、今後のブルガリアとの国際貢献・交流に対する活動に期待を寄せました。



協会メンバー以外、多くの一般市民も参集して、ブルガリアの美味しい料理とワインの楽しんだ



美味しいブルガリアンワインとラキアを陳列



2011年度の国際交流、国際貢献の地道な活動へスタートを切る



ブルガリアの料理とワインを楽しんだ後に全員で記念写真に納まる

参加者全員が最高のスマイルで記念写真に



ブルガリアとの平和・文化・教育交流を

2011年5月29日(金)～6月10日(日)

第7次・ブルガリア訪問団を派遣



伊藤特命全権大使が開催の意義を強調

反響呼び開催期間を11日延長

2011年度・活動の軌跡

5月31日(火)～6月23日(土)



伊藤大使(左)



広島市長の平和親書を手渡す

会場では今村団
長が広島市の松井
一實市長からの平
和メッセージと原
爆ドームタペストリー
を手渡し、核兵器廃
絶を願う「ヒロシマ
の心」を訴えました。
伊藤大使は、原爆
展の開催に尽力し
た当協会とプロヴ
ディフ市、会場の同
市歴史博物館に謝
辞を述べ、「世界で
唯一の被爆国日本
は核兵器の脅威を
記憶に留め、世界に

アタナソフ市長に

松井広島市長の平和親書と原爆ドームタペストリーを

第7次・ブルガリア訪問団(今村功団長、7人)は、5月29日(金)から6月10日(日)までブルガリアの15市町村を回り、平和・文化・教育・福祉・学術・市長表敬・経済・友好協会など多彩な交流活動を展開しました。



原爆ドームタペストリーをアタソフィ市長に贈呈

通算5回目の「原爆展」(都市目)を開催
第2の都市・プロヴディフ市の市歴史博物館

第7次・訪問団の目的の一つは、ブルガリア第2都市・プロヴディフ市の「原爆展」(通算5都市5回目)の開催でした。
同原爆展には、同市のスラヴェトヨ・アタソフ市長や在ブルガリアの伊藤特命全権大使も駆けつけ、盛大に開かれました。
原爆展の開催は、同市で初めてで、同展を

佐々木副団長が原爆資料館図録



原爆資料館の図録を贈る

核兵器廃絶と恒久平和の願いを訴える使命がある」と意義を強調しました。
佐々木副団長は、協会からの「原爆資料館展示図録」を同市長に贈呈し、戦争で一番の被害者になる女性の立場から核兵器の恐ろしさ

期間を延長し、約5,000人の市民・学生が来場

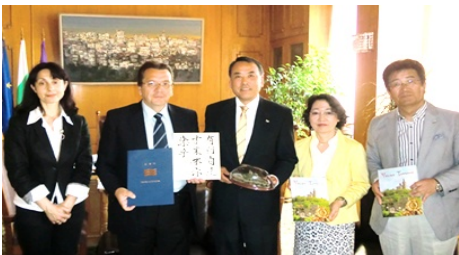
重視したアタソフ市長は、開催期間13日間を24日間に延長、同市内の小中学校に原爆展参観を誘いました。
在ブルガリアン本大使館によると、開催中の来場者は、計約5,000人へのほり、大きな反響を呼んだそうです。
今回の訪問団メンバーは、今村団長の他に、山尾秀治副団長、佐々木和子副団長、佐藤佳代子理事、清水きわ子団員、今村悦子団員、田中武特別団員の計7人。

広島市長の平和メッセージ

3市長、1研究機関所長に手渡す

第7次・ブルガリア訪問団は、松井広島市長から預かった平和メッセージをプロヴディフ市のアタソフ市長などの3市長と生物学者のゲオルギエヴァ所長に手渡し、核兵器廃絶と恒久平和を願う「ヒロシマの心」を伝えました。

ヴェリコ・タルノヴォ市 ラシェフ市長



(左から)ダンコヴァ会長、ラシェフ市長、今村団長、佐々木副団長、山尾団長代行

市ラシェフ市長の表敬訪問の際には、いつもお世話になっている同市の日本ブルガリア友好協会

プロヴディフ市 アタソフ市長

(上に紹介)



(左から)在ブルガリア日本大使の森二等書記官、ゲオルギエヴァ所長、今村団長

放射線防護センター

ゲオルギエヴァ所長



ダミヤノフ市長(左)

カザンラック市 ダミヤノフ市長

のヴァレンチナ・デヤンコヴァ会長も同席され、ともどもに「平和市長会議メンバーとして、広島市と連携して核兵器廃絶に向けて努力したい」と述べました。
カザンラックのダミヤノフ市長、放射線防護センターのゲオルギエヴァ所長は、原爆資料館の見学や慰霊碑献花などをしていただけに、「ヒロシマの心」に強く共感していました。

支援法人・団体 : 広島大学、広島経済大学、学校法人・鶴学園、広島修道大学、(有)ヤマオコーポレーション ほか



ブルガリアと学術・福祉・経済交流を

広島でのチャリティー活動で集まった善意を福祉施設に寄贈(通算5回目)



2011年度・活動の軌跡

第7次・ブルガリア訪問団は、広島大学浅原学長からソフィア大学との大学間協定書を、同大学原爆放射線医学研究所の神谷二所長から放射線防護センターとの学術協定書を預かり、協定締結の橋渡し役を果たしました。

また、広島大学とソフィア医科大学とソフィア学問協定から大学間協定に格上する旨を伝えました。

第7次・ブルガリア訪問団

5月

広島大学 ソフィア大学や放射線防護センターと学術協定



「愛の結晶」義捐金をガネヴァ副施設長(中央)に贈る山尾団長代行

被爆後に世界の多くの国や人々の支援のおかげで復興・発展した広島。今度は、広島が世界貢献する番、とチャリティー活動を展開してきた当協会は、毎年ブルガリア訪問団派遣の際に、ソフィア市にある聖イヴァン・リルスキー乳幼児養護施設に「愛の結晶」義捐金を贈ってきました。今回も、5月30日(月)に同養護施設を訪問した訪問団一行の山尾治団長代行が、この1年間で集めた義捐金・約10万円分をガネヴァ副施設長に手渡ししました。同副施設長は、弁護士、会計士の3人がサインした受取書を山尾団

聖イヴァンリルスキー乳幼児養護施設 「愛の結晶」をガネヴァ副施設長に

ソフィア市



広島大学からの協定書をペトコヴァ副学長に



広島大学原爆放射線医学研究所からの協定書をゲオルギエヴァ所長に



3歳の子供と交流する佐々木副団長ら訪問団メンバー

長代行に渡し、「冬には摂氏零下15度以下になるので、風邪薬の購入費に充てたい」と感謝していました。

一行は、同副施設長の案内で施設内を巡回して幼児らと交流しました。

広島経済大学

国際国立経済大学と学術協定



広島経済大学の学術交流協定(覚書)をミシェフ副学長に

また、第7次・訪問団は、広島経済大学の学術交流協定(覚書)を国際国立経済大学のミシェフ副学長に手渡ししました。

ポモリエで経済交流

訪問団は、ワイン造りでの有名な黒海沿岸のポモリエと北東部のタルゴヴシュテに足を延ばしてワイン製造工場を視察し、広島に輸入できるかを検討しました。

ポモリエには、山尾団長代行や佐々木副団長らが、タルゴヴシュテには今村団長が行き、テイスティングや値段交渉などをしました。

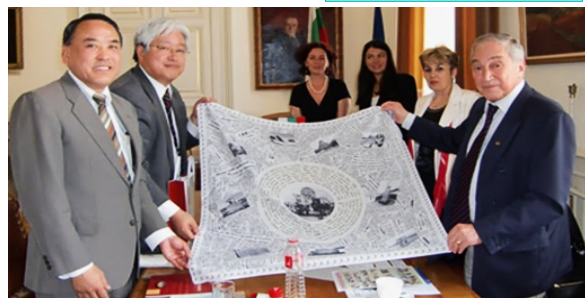


ポモリエのワイン工場を視察する山尾団長代行ら

ワイン製造工場を視察

科学アカデミーを訪問

広島工業大学の田中教授とともに



意見交換後、議長に各国語の平和揮毫布を贈る

第7次・訪問団は、広島工業大学の田中武教授とともに科学アカデミーのサボディノフ議長、ヴトヴァ教授と会い学術交流について意見交換しました。

6月

学術協定書を届ける



昨年11月4日(木)同防衛センターで鈴木前所長が講演・交流したことがきっかけで実現したものです。

神谷所長(中)に協定書を、手渡し今村会長。右は鈴木前所長

広島大学 原爆放射線医学研究所

ブルガリアから帰国後の6月22日(火)、今村会長は広島大学原爆放射線医学研究所(略・原医研)で神谷二所長、鈴木文男前所長に会い、ブルガリア生物学放射線防護センターから預かった学術協定書を手渡しました。

神谷所長、鈴木前所長に面会

箱のデザインから販売促進企画などは

株式会社 トモエ

082-874-3175
広島市安佐南区祇園3丁目

ブルガリアと大学間交流・文化・経済交流を

広島大学とソフィア大学・ソフィア医科大学、広島経済大学と国際国内経済大学



前川学長に協定書を手渡す



6月28日(火)、今村功会長と高丸晃代表理事は、広島経済大学で前川功一学長に会い、ブルガリア国際国内経済大学から預かった「大学間協定書」(覚書)を手渡ししました。同大の国際交流室のジョージ・R・ハラダ室長(教授)も同席しました。2009年、前川学長から「交流希望親書を預かった今村会長が広島大学の鈴木文男特任教授と同大学で、スタティースタテフ副学長(現学長)に会い、同親書を手渡してから始まりました。

広島経済大学

6月

2011年度・活動の軌跡

広島大学 医学部

吉柄医学学長、酒井前副医学部長



6月22日(火)、今村会長は広島大学医学部で吉柄正生医学部長(大学院教授)、酒井規副医学部長(同、当協会・理事)に会い、ソフィア医科大学から預かった「大学間協定へ格上同意書」を手渡ししました。

これまで、両医学部で学部間協定を進めてきましたが、ブルガリアでは大学間協定がなかなか進まなかったことに、格上げするものだと思います。

吉柄医学学長(中)に格上同意書を手渡す
右は酒井教授

9月

福岡ブルガリア友好協会や舞踊団員らと交流

宗政ブルガリア名誉領事とも歓

福岡県宗像市



宗政名誉領事(左)とダンスを披露するカザンラック舞踊団



9月15日、16の両日、今村功会長と鈴木文男副代表理事(広島大学特任教授)、鈴木裕子さんと、福岡県宗像市のグロバルアリーナで開かれたブルガリアフェスティバルに友情参加しました。宗政伸一・ブルガリア名誉領事は、毎年開く同フェスティバルへの参加に謝意を表しながら、さらなるブルガリアと日本友好促進をあいさつしました。

「大学間協定」の締結などを報告

7月

広島大学

浅原学長に協定書を手渡す



7月10日(火)、今村会長と田中武副会長(広島工業大学教授)、広島大学原爆放射線医学研究所の鈴木文男前・所長(当協会・副代表理事)とともに広島大学で浅原正学長にソフィア大学から預かった「大学間協定書」を手渡しました。

昨年2010年11月に、鈴木前所長と今村会長がブルガリア・ソフィア大学を訪問したことがきっかけで締結されました。浅原学長は今後の学術交流に期待を寄せました。

10月

ナイチョフ、ポポフ両氏を案内

東広島市西条

西条祭りの案を、と10月10日(土)に三島佳代子副代表理事や、徳田沙織理事、今村佳代子幹事らは広島大学大学院博士課程に留学しているジョコナイチョフ心臓外科医、ポポフ院生を東広島市西条に案内しました。



ナイチョフ(左)、ポポフ(中)両氏を案内した三島副代表理事(右)ら

トドロフ大使に訪問の成果を報告



9月16日、今村会長と鈴木文男副代表理事らトドロフ大使ご夫妻と意見交換する鈴木副代表理事ら

大学特任教授(ら)は、同フェスティバルに参加していたブルガリア共和国大使館のリュボミル・トドロフ大使と会い、第7次ブルガリア訪問団の際に支援してもらったことに対するお礼と、ブルガリアでの活動を報告しました。

鈴木特任教授は、広島大学とソフィア大学、広島大学原爆放射線医学研究所とブルガリア生物学放射線防護センターがそれぞれ学術協定を結んだことを紹介しました。

トドロフ大使は協定の締結を喜ばれ「学術的な交流が活発化することを願っている」と将来に向けての具体的な学術交流に期待を寄せていました。

みんなが主役

各自の個性、特徴を發揮して、素晴らしい出会いと素敵な「国際貢献」を



ブルガリアと電子工学・文化交流を

広島大学・大学院博士課程への留学研究や映画界の人とも



12月

新・大学院生の歓迎交流会

2011年度・活動の軌跡

第7次・訪問団の活動を報告

11月



歓迎交流会であいさつするポポフ氏(右)とナイチョフ氏

広島大学大学院・博士課程で研究 ブルガリア人のポポフ氏を招き

広島市

当協会は12月10日(土)、広島市中区で広島大学大学院博士課程に新しく留学してきたブルガリア人「ポポフ氏」の歓迎交流会を開きました。これには、通訳として同大学大学院外科学博士課程に在籍中のジェコ・ナイチョフ心臓外科医も招待し楽しく交流しました。

歓迎交流会には広島大学の鈴木文男特任教授、酒井規雄教授、田中春彦名誉教授、広島工業大学の田中

広島大学大学院工学研究科の金田教授が尽力



広島平和文化センターでブルガリア訪問報告する今村団長

報告をいたしました。訪問団を代表して今村功団長がブルガリアでの活動をプロジェクトエクスターを使って「原爆展」の反響や市民交流、大学間協定などを紹介。総評をした同平和文化センターのステーション・リーパー理事長は、当協会の訪問活動に対して平和・文化・学術など多彩な活動に対して高く評価し、今後の民間活動の活発化に期待を寄せました。

原爆展の反響などを報告

広島市平和文化センター

第7次・ブルガリア訪問団は11月24日

2011年最後の常任理事・理事会

12月



あいさつする岸田相談役(左から3人目)と協会メンバー

2011年度・最後の第43回常任理事・理事会を12月10日午後、広島市中区で開きました。

これには、多忙な中、岸田文雄相談役(衆議員)も駆けつけて、活動に対するアドバイスをやミニ国会報告をしてくれました。

鈴木文男副代表理事(広島大学原医研・前所長)からは、来年2月に開かれる同研究所主催の原爆放射線国際シンポジウムにブルガリア生物学放射線防護センターのゲオルギエヴァ所長を招待することを検討

岸田相談役(衆議員)も激励

広島市

2011年最後の夕食懇談会

今後の活動を話し合う

今村功会長や高丸晃代理事らからは、ブルガリア支援基金(案)や来年の第8次・ブルガリア訪問団の日程などが発表され、検討しました。

常任理事・理事会後にポポフ氏歓迎夕食懇談会を開き、いつもながらの和やかで楽しい会でした。

夕食懇談会では、参加者各自が今年1年の感想を述べながら、来年の友好交流活動の活発化に向けて決意を述べました。広島大学大学院教授の酒井規雄理事は、来年にロシア医科大学との大学間協定の締結に取り組み決意を述べました。

懇親会に俳優・東武志氏が参加

2012年1月

常任理事・理事会

1月28日(土)の第44回・常任理事・理事会後の夕食懇親会には、北後 顕児常任理事の紹介で、俳優・東武志氏と、脚本家・草部文子女史が参加し、和やかに懇談しました。草部女史から戯曲集をいただきました。



俳優・東武志氏(中)と脚本家・草部文子女史(左)から戯曲集を受け取る北後常任理事

武教授(いづれも協会メンバー)にも参加し、今後の学術研究について、話の花が咲きました。

ポポフ氏は、同大学院工

この中で、特に金田教授が多忙な中、ポポフ氏と直接、連絡を取り合い、とアドバイザーをしたり、受け入れ担当の余力を直人教授の紹介など尽力してくれて実現しました。

接、連絡を取り合い

とアドバイザーをしたり

オフィス用品の翌日配達システム

株式会社 多山文具

082-248-0030
広島市中区千田町2丁目



ブルガリアと原爆放射線研究で交流を 国立放射線研究機関から広島大学・原爆放射線医科学研究所シンポに2度目

2011年度・活動の軌跡

2012年2月

広島大学原医研との協定で貢献

ブルガリア研究機関から所長が参加

広島大学原爆放射線医科学研究所
創立50周年記念式典
国際シンポジウム
シンポジウム会場前



広島大学原爆放射線医科学研究所(神谷研二所長)の50周年記念国際シンポジウムが2月20日(月)21日(火)の両日、広島市中区の広島国際会議場で開催され、ブルガリア生物学放射線防護センターのゲオルギエヴァ所長が参加しました。



国際シンポに参加したゲオルギエヴァ所長

同シンポには、IAEA(国際原子力機関)やWHO(世界保健機関)の専門家約150人が参加し、福島第一原発事故の復興支援、放射線リスク防御などの研究発表や意見交換がありました。

この中で同所長は神谷所長、鈴木前所長、田代聡教授らとも意見交換し、実りの多い国際シンポでした。さらに、富山県に帰京する鈴木前所長に代わって、田代教授が担当教授になることも伝えられ、学術交流の持続が確認されました。

50周年記念・国際シンポジウム



鈴木前所長(前列左から2人目)に感謝状を贈ったゲオルギエヴァ所長(同3人目)、息子のアレキサンダ(同4人目)、裕子夫人ら

広島大学原爆放射線医科学研究所50周年記念国際シンポジウムに招待されたブルガリア生物学放射線防護センターのラドステイナ・ゲオルギエヴァ所長は2月19日(日)、ANAホテルで、広島大学同研究所の鈴木文男前所長への感謝状贈呈式を行いました。鈴木前所長は、2010年11月に今村会長とともにブルガリアの同放射線防護センターを初訪問「原爆放射線影響の最新研究」の講演をした同前所長が、翌11年2月に広島で開催される同原医研主催の第1回「国際シンポジウム」の案内、学術交流の提案などをしました。ゲオルギエヴァ所長は、これに答えて国際シンポに参加して協定締結が実現しました。

ブルガリア放射線防護センターから感謝 鈴木・前所長にゲオルギエヴァ所長から

美しい錦帯橋の案内



錦帯橋をバックに記念写真

2月21日(火)、国際シンポが終了した後、当協会はゲオルギエヴァ所長を岩国市の錦帯橋や岩国城に案内しました。鈴木裕子さんと原田泰弘氏、今村会長が同行しました。同所長は、欧州とは違った日本建築や日本庭園、茶道、和菓子などに驚いていました。

山口県岩国市

原爆資料館

アレキサンダー氏を案内



原爆資料館を見学するアレキサンダー氏(右)と鈴木裕子さん

当協会は2月20日(月)、ゲオルギエヴァ所長とともに来広した二男・アレキサンダー氏を原爆資料館(広島平和記念資料館)や平和公園などを案内しました。案内役は、同資料館の和田香穂里・学芸担当にお願しい、今村会長と鈴木裕子さんが同行しました。アレキサンダー氏は、原爆被害の悲惨さに言葉を見失い、帰国して友人に伝えたいと語っていました。

広島市

割烹料理で歓迎迎交流会

2月21日(火)夜は、広島市中区の割烹料理店で「歓迎交流会」を開きました。碓氷芳雄相談役や今村会長、佐々木和子、田中武両副会長などのメンバーが参加。和食を食べながら、ブルガリアや広島のことなどを話題に交流しました。

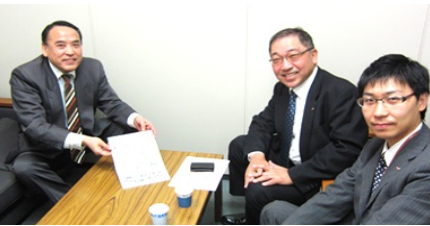


ゲオルギエヴァ所長中心に記念写真

ブルガリア・ヨーグルト支援のお礼とお願

3月

株式会社明治中国市乳支店を訪問



植木支店長(右から2人目)が支援を快諾

今村会長は3月8日(木)、広島市中区の株式会社明治中国市乳支店に植木則夫支店長を訪ね、来る4月のブルガリア議長団来広時とチャリティイベントの料理とワインを楽しむ会へのブルガリア・ヨーグルトの支援をお願いし、快諾を得ました。

全社・小型車です。気軽にご予約を

中国タクシー株式会社

082-221-1084
広島市東区牛田新町3丁目



ブルガリアと大学間・世界遺産の訪問交流



広島大学学術協定後、ソフィア大学で初の環境教育・講演

2011年度・活動の軌跡

2012年3月

大学間交流などに尽力、協会から感謝状

大嶋氏が常任理事・事務局長に

両氏の歓送迎会

鈴木、大嶋両氏の歓・送迎会

3月21日(水)mp感
謝状授与式の後、「鈴木氏
と大嶋氏の歓・送迎会」
を楽しき行いました。
鈴木名誉代表理事(広
島大学名誉教授)と夫妻
が帰広されると同時に、大
嶋登常任理事・事務局長
が約3年間の中国大連市
から帰広されたのです。
これには、多忙にもか
かわらず浅野洋二相談役
(元・広島県議)や公認役
計士・税理士の佐上芳春
監査ら20人が参加。鈴
木氏は帰郷後の決意を、
大嶋氏は今後の活動参加
への思いを述べました。



広島市



協会からの感謝状授与式の後、鈴木毎夜教授を中心に記念写真

鈴木文男氏(広島大学名誉教授)の功績を讃えて

広島大学原爆放射線医科
学研究所の鈴木文男・前所
長(名誉教授、協会・副代表
理事)が、富山県に帰郷する
ことになり、当協会は3月
21日(水)、広島市中区で、
鈴木氏への感謝状授与式を
開きました。
鈴木氏は、2010年1

名誉代表理事 富山支部長に

1月、第6次・ブルガリア訪
問団とともに広島大学学術
訪問班として、ブルガリアを
訪問し、ソフィア大学、生物
学放射線防護センターなど
で、「原爆放射線の人体的影
響」の講演をされるとともに学
術協定の締結に多大な尽力

ソフィア大学で環境教育・学術交流

広島大学の田中春彦名誉
教授(当協会会員)は、3月
25日(日)・29日(木)まで
ブルガリアを初訪問し、ソ
フィア大学化学学部と経済
経営学部で環境教育につい
て講演。さらに、生物学放射
線防護センターを訪問し、ゲ
オルギエヴァ所長、アレキサ
ンダー氏らと交流しました。
ソフィア大学で田中名誉
教授は、価格爆発で「低炭素
社会を目指したエネルギー
環境教育」、経済経営学部ハ
イテクビジネスセンターで
「持続可能性を目指した教育
の必要性」とのタイトルでそ
れぞれ講演しました。

広島大学の田中春彦名誉教授が講演



ソフィア大学化学学部で学術交流する田中名誉教授(左)

放射線防護センターも訪問・交流

3月27日
(金)中氏は放射
線防護センター
を訪問した後、
ゲオルギエ
ヴァ所長(左の
写真中)らと
もに昼食交流し
ました。



ゲオルギエヴァ所長に再会

3月28日(水)
田中氏は、同所長
の二男・アレキ
サンダー氏の案内
で世界遺産・リ
ラの僧院を見学
し、ブルガリア正
教総本山の美し
さに感動しまし
た。



松井広島市長を表敬訪問

4月



第7次・ブルガリア訪問報告の後、松井市長(右)と記念写真

第7次・ブルガリア訪問の活動を報告

4月5日(木)、第7次・
ブルガリア訪問団(今村功
団長、7人)代表者は、広
島市役所に松井一實市長
を訪ね、訪問団の活動と
成果を報告しました。
今村団長や佐々木和子
副団長、田中武特別団員、
佐藤佳代子団員らは、そ
れぞれブルガリアでの活
動やエピソードなどを紹
介しました。
プロヴディフ市での初
の原爆展(通算5都市5回
目)で今村団長は、原爆展
の重要さを認識したスト
エフ・アタナソフ市長が
開催期間を11日延長し、
小・中・高校生を見学さ
せるようにしたことを報
告しました。